



(社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)人材育成委員会が主催する「内定者向け 社会人基礎力研修」をご紹介します。

「社会人基礎力」とは、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として経済産業省が提唱したものです。

1. 前に踏み出す力 (アクション)
2. 考え抜く力 (シンキング)
3. チームで働く力 (チームワーク)

この3つの能力(12の能力要素)から構成されています。

学生から社会人への第一歩を踏み出す際に求められる「社会人基礎力」を内定者に習得してもらうため、CSAJでは演習を中心としたカリキュラム構成の研修講座を企画いたしました。

コンピュータソフトウェア協会の会員以外の方も受講可能です。

内定者が社会人としてあるべき姿にステップアップでき、入社後のOJTなどの社内教育の一部削減につながるものと考えています。

是非、入社までのフォローアップの一環としてご利用ください。

■日時：平成24年2月14日(火)～15日(水)

各日 10:00～17:00 (受付 9:30～)

■会場：(社)コンピュータソフトウェア協会 会議室

東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館 1号館 5F

[http://www.csaj.jp/profile/csaj\\_map.html](http://www.csaj.jp/profile/csaj_map.html)

■受講料：会員 45,000円/1名、一般 50,000円/1名

■定員：30名 (最低催行人数：12名)

■プログラム：

1日目：社会人基礎力、ワークショップの説明、ワークショップ実施

2日目：1日目の振り返りとワークショップ、アクションプランの作成

(人材育成担当者様と共有し、4月以降のOJT時に活用)

※本講座開催前に、1回目の社会人基礎力測定を行います。

※平成24年6月頃に入社後のレビューとして、2回目の社会人基礎力測定とワークショップを行う予定です。

●お申込みは、下記URLより受講申込書(PDF版)をダウンロードの上、FAX又はメール添付にてお送りください。

[http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214\\_seminar.html](http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214_seminar.html)

パンフ（PDF版）[http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214\\_seminar1.pdf](http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214_seminar1.pdf)

申込書（PDF版）[http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214\\_seminar2.pdf](http://www.csaj.jp/seminar/2012/0214_seminar2.pdf)

お問い合わせは、社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）まで  
事務局 山田 TEL：03-3560-8440 E-mail：gyoumu1@csaj.jp

::\*::

## 2. Y's セミナー今後の開催予定のご案内

::\*::

今後の Y's セミナー、3月までの定期開催コースをご案内します。

ぜひぜひ、ご予約に組み込んでご参加ください。

Y's ラーニングでは今後も公開コースを増設してまいります。

詳細は Web サイトでご覧いただけます。

お急ぎの方もご不明点も、どうぞご遠慮なくこちらにお問い合わせください。

<http://yslearning.com/お問い合わせ/>

### 【1月】

1月 24日（火） 顧客満足の基礎（クレーム対応とVOC）

1月 26日（木） 図解する力

### 【2月】

2月 14日（火） 文書力総合コース（説得できる資料作成）

2月 16日（木） 顧客満足応用（クレーム対応とVOC管理者編）

2月 22日（水） 要約力をつけよう（レベルアップ編）

2月 23日（木） ビジネス文書応用コース（ロジカルライティング）

### 【3月】

3月 13日（火） ロジカルシンキング入門（ロジカルで行こう）

★\*\*★

## 3. 田中晴美「おぼあの知恵袋」Vol.30

★\*\*★

組織力を高めるロジカルハウ・レン・ソウ

－ 2WAY コミュニケーションで組織を活性化させる －

新年 明けまして おめでとうございます。

今年の干支は辰ですね。

そこで、辰年を Web 検索してみたら辰年とは、干支（十二支）の 5 番目。  
「西暦年を 12 で割った際、余りが 8 となる」年だそうです。

2012 年新年号からは「組織力を高めるロジカルハウ・レン・ソウ  
ー 2WAY コミュニケーションで組織を活性化させる ー」の連載を始めます。

スキルアップマガジン 2010 年 6 月後半号から 2010 年 8 月後半号にかけて  
「ハウ・レン・ソウの基礎」について掲載しました。

Y's ラーニングのホームページにある、バックナンバーをお読みくださいね。  
ここには、新入社員向けにビジネスの基本としての報告・連絡・相談が掲載して  
あります。

今回から始まる「組織力を高めるロジカルハウ・レン・ソウ  
ー 2WAY コミュニケーションで組織を活性化させる ー」では、ワンランク上の  
ロジカル（論理的）な報告・連絡・相談について掲載していきます。

手始めに、あなたの「ハウ・レン・ソウ」度をチェックしましょう。

1. 組織の目標をチームメンバーや部下は明確に理解している。
2. 「〇〇したほうがいい」「〇〇すべきだ」というアドバイスを良く  
チームメンバーにする。
3. チームメンバーや部下が、どのような価値観や使命感（何のために仕事を  
しているのか）をもっているかを把握している。
4. 「成果の上がないメンバーは必要ない」と思うことがたまにある。
5. 職場では「オープンなコミュニケーション」が行なわれていると思う。
6. だれに対して「理解」と「賛同」を分けている。
7. チームメンバーや同僚、部下の言っていることに対して「理解」と「賛同」  
を分けている。
8. 報告・連絡・相談は部下が上司のためにするものだと思う。
9. 自分は「話しやすい」と言われるほうだと思う。
10. 自分の成功体験やアイデアについて、チームメンバーや部下から聞いて  
こないかぎり伝えない。
11. 自分はよく他の人をほめるほうだと思う。
12. 他の人や部下の話を途中でさえぎることがある。
13. 自分はチームメンバーや部下に対して「どう思うか？」と意見を聞くほう  
だと思う。
14. 部下と話をするとき、部下を自分の席に呼び寄せるようにしている。
15. チームメンバーや部下が「何のためにいまの仕事をしているのか」を  
理解していると思う。
16. どちらかといえば、チームメンバーや部下に任せるよりも、自分が単独で

仕事をしたほうが生産性は高い場合が多い。

17. 細かい指示をする前に、まずは部下自身で考えさせるようにしている。
18. 職場で自分は「なぜ？」という言葉をよく使うほうだ。
19. チームメンバーや部下に対して、報告してほしい事柄、連絡してほしい事柄を明確に伝えている。
20. チームメンバーや部下の仕事の問題点や課題は聞かなくてもほしい理解しているの、あえて聞く必要はないと思う。

一通りチェックが終わりましたら、奇数番号のチェック数と、偶数番号のチェック数をかぞえてください。

その後、奇数番号の数から偶数番号の数を引いてください。

引いた数があなたの「ホウ・レン・ソウ」レベルです。

9～10は、「ホウ・レン・ソウ」実践者

6～8は、「ホウ・レン・ソウ」平均レベル

5以下は、「ホウ・レン・ソウ」をしっかり勉強するレベルとなります。

いかがでしたか？

それでは「ホウ・レン・ソウ」のしっかり勉強するレベルだった人も、平均レベルだった人も、既に十分実践している人もワンランク上のロジカルなホウ・レン・ソウと一緒に学んでいきましょう。

今回は、ホウ・レン・ソウの目的についてです。

【ビジネスマナークイズ】 Q32 日本料理のマナー

日本料理の席で基本のマナーとして、適切なのはどれでしょうか？

- (1) ごはんを食べる際は茶碗を両手で持ち上げ、左手（利き手と逆の手）に持ち替えてから箸を取る。
- (2) フタ付きの器は食べ終わったらフタを裏返して器に戻す。
- (3) 中座するときは、箸を器の上に置いておく。

★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★

4. 浮島由美子「お役立ち！ミニミニ知識の泉」Vol.30

★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★\*\*★

さて、「何でも屋」担当をいたします Y's ラーニング代表の浮島です。

ビジネスに必要な知識やスキルって幅広い。  
ここでは限定せずにあれこれ拾っていかうと思っています。

### 【考えて発信する力7】

ビジネスマンの総合力をアップする！

「考えて発信するトレーニング」をシリーズでお届けします。

さまざまなビジネスシーンで、見直されている「考える力」の重要性。  
Y's ラーニングでは本年度から、この「考えて発信するトレーニング」を開始しました。

### 情報収集のポイント

「考える力」というのは独立した能力ではありません。

大きな流れは、

【1】情報を仕入れる → 【2】情報を加工する → 【3】情報を発信する  
という3ステップで構成されます。

### 【2】情報を加工する

「情報加工」フェーズの第二回は、情報加工のポイント2「情報加工の切り口」です。

### ロジカルシンキングとラテラルシンキング

情報を加工する考え方にはこの二つがあります。耳にされたことありますか？

よく、ロジカルシンキングは「垂直思考」、ラテラルシンキングは「水平思考」ともいわれています。

「ロジカルシンキング」という言葉を知らないかたはいないでしょう。

ビジネスマンの定番です。

「ラテラルシンキング」はいかがですか？

最近、「ずるい考え方」というタイトルのビジネス書が発売されています。

理詰めだという印象のロジカルに対して、発想力豊かな印象のラテラルを

「ずるい」と表現している点は秀逸ですね。

情報を加工するためには、なんらかの分析や判断が必要です。

そのとき役に立つのが「ロジカルシンキング」「ラテラルシンキング」といった「思考方法」です。

まずはそれぞれの「思考方法」を知り、違いを確認しましょう。

・物事を課題化して、原因分析、対策検討を実施して結果（解決策）を求める

ことが、「ロジカルシンキング」  
・物事に対して、幅広い自由な発想を広げることで打開策を求めていくことが  
「ラテラルシンキング」

こんなイメージでしょうか。視点の転換ともいえます。

もちろん、「思考方法」というものは、数学の公式のように  
「何かがあてはめられて、必ず答えが出る」ものではありません。

しかし、「考え方」を知ると、「思考の効率」はぐっとあがります。  
そんな意味で、「ロジカル」「ラテラル」どちらも学んでいただきたいと思います。

〇。  
「スキルアップマガジン」は、Y's ラーニングのお客様、および Y's の  
スタッフが名刺交換させていただいた皆様にお送りしています。  
あなたのスキルアップに役立つ情報をお届けする無料のメールマガジンです。  
ぜひ、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

※皆様からのご意見・ご感想・ご要望、お待ちしております。

→E-mail : [info@yslearning.com](mailto:info@yslearning.com)

→Y's ラーニングお問い合わせフォーム : <http://yslearning.com/お問い合わせ/>

※配信停止をご希望の方は、「配信停止」とご記入の上、  
お手数ですが、停止希望のメールアドレスを上記までご連絡ください。

※配信先の変更がある場合は、「配信先変更」とご記入の上、  
旧配信先と新しい配信先をご記入の上を上記までご連絡ください。

〇。  
2012.1.20 号

#### 【ビジネスマナークイズ \*解答】

解答 (1)・・・適切でないもの

茶碗は両手で持ち上げ、左手に持ち替えてからごはんを食べます。  
汁物以外は器に直接口をつけてはいけません。

フタ付きの器は左手を器に添え、右手でフタを開けるのが作法です。  
食べ終わったらフタは元のおりに戻します。  
食べ終わったあとに器どうしは重ねてはいけません。

箸の使い方には注意が必要です。不作法とされるのは、

刺し箸（食べ物を箸で刺して食べる）、  
ねぶり箸（箸先をなめる）、  
迷い箸（食べるものを迷って複数の皿に箸を伸ばす）、  
渡し箸（器の上に箸を置いておく）、  
寄せ箸（箸で器を引き寄せる）、  
探り箸（箸で器の中をかき回して探る）、  
拾い箸（箸から箸へ食べ物を受け渡す）などです。

箸は使い終わったら、箸置きにのせるか、箸袋に入れて袋の先を少し折っておきます。